

道教(参考資料)



- 漢民族の民族宗教
(満州族は仏教)
- 「気」の宗教
- 韓国、日本にも影響
(道教教団は入っていない)
意識的に取り入れた。
無意識に入ってきた。
中国との交流で入ってきた。

漢民族の信仰

- 天の思想
超越者、天帝
 - 朝鮮の「天」＝神が降りてきて人を助ける。
 - 日本は「天」にあたるものは存在しない。
- 気
万物生成を気(＝物質的な生命エネルギー)の変化(運行)からとらえる。
易占、風水、陰陽、五行
- 道教(民間信仰)
「道(tao)」＝気
「福」「禄」「寿」＝現世利益
そのために、気を操作して「永世不死」を得る＝仙人
- 儒教(為政者のため)
 - 社会的安定が目標(経世在民)
 - 気を爆発させないようにする＝修身
＝齊家治國平天下

源流

- 古代宗教
(天、鬼神信仰、符の使用)
- 神仙信仰
- 老荘思想
(黄老の学)
- 陰陽五行思想
- 讖緯思想



- 儒教、仏教の影響

道教とは

- 自然崇拝
「気」を利用
気の取り入れ方「外丹」
「内丹」(ex. 太極拳)
- 様々なものを信仰
現世利益＝永世不死のため
＝中国は「道教」の国
(日本の「神道」に近い性格)
- 道教学として栄えたのは、南北朝、隋唐時代
＝渡唐留学生の時代。
(様々なものが流入)
- 宋の時代に大きく変化
(貴族の道教から民間の道教へ)
＝色々な神が習合(関帝、媽祖など)

宋の時代に中国文化の担い手が貴族から富裕層に移る。唐の時代、教相判釈など、教学が隆盛した仏教も、教学が廃れ「禪宗」中心になる。仏教学の影響をうけている道教も、教義よりも簡便な民間信仰となる。日本に入ってくるのは隋唐時代の道教が中心である。

日常生活



中国文化に習合(仏教にも)



普蘭店清泉寺

日本に流入(意識的に)



- 齊明、持統、天武期
道教に強い関心。
道教系と考えられる遺跡が多い。
- (酒船石、蓬莱石、人面石、天武持統陵。八角形墳、伊勢神宮内宮など)

日本に流入(意識的に)

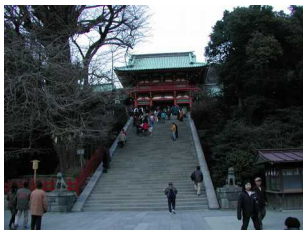


キトラ古墳:北極星、北斗七星



庚申信仰

日本に流入(無意識的≒渡来人経由)



- 八幡信仰
「昔言は雲旦国の雲神」
- スサノオ＝新羅から
- 様々な神(地主神など)
- 出雲熊野神社(歯固め儀式)
- 修験道
＝道教＋密教(仏教)＋山岳信仰(神道)
- 赤山明神、新羅明神

ただし、日本の基層信仰の神道に
烈しく同化している。

高句麗、百済時代から道教が流入。新羅仏教は道教と烈しく習合している。そもそも仏教が
中国で道教(中国文化)と習合して、朝鮮、日本に入ってきている

日本に流入(江戸時代:長崎)



唐人屋敷天后堂



おくんち

日本に流入(中華街)



横浜関帝廟



横浜媽祖廟

様々な影響

- 中元
- 節分、七夕
- 雨乞い
- 鍾馗、福祿寿、閻魔王
- 六曜、九星占(天中殺)
- 神道儀礼
- 漢民族文化は道教文化
物と共に無自覚的に流入
したものも多い。

